

**グリーティングカード完成** 元旦の最大の楽しみは心のこもった年賀状を 1枚1枚読みながら 送り主の顔を思い浮かべ旧交を暖めることにあります。年賀状のやりとりは虚礼という意見も世間に流布しているようですが 筆不精の小生にとっては 日頃の無沙汰を年に一度解消する絶好の手段となっています。

海外宛ての年賀状は普通クリスマスカードと呼ばれていますが クリスマン以外の人にとっては クリスマスは本来何のかかわりあいもないはずですが。お祭り好きで宗教的にはかなりいい加減な日本人を除いては。そこで クリスマスカードとは言わずに 万国共通なグリーティングカードとしているわけです。

毎年秋になると 当所の今年のカードはどうしようと頭を痛めるのですが 従来まであまり組織的には作業をしていなかったようです。今年こそ早めに計画するゾと意気込んでみたのですが 黒鉱ワークショップや出張などが重なったため カード作成実行委員会の初会合は10月初旬となってしまいました。企画室豊 逢秋氏・海洋地質部岸本清行氏・総務部河村幸男氏・海外室田口雄作の4名の実行委員が相談した結果 題材を今年のメインイベントの一つである「黒鉱」とすることに決定し 材料集めにかかりました。鉱床部の中嶋輝允氏にお願いしてサンプルやスライドを見せていただいて検討した結果 写真に示した古遠部鉱山産の素晴らしいサンプルを採用することにしました。

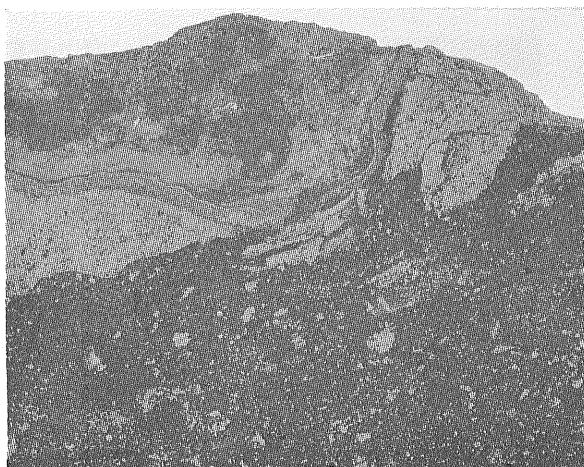
このサンプルは黒鉱鉱床の最上部から採取したもので 左下半分から右半分にかけての黒色部は 閃亜鉛鉱と方鉛鉱とからなり その黒色部の内側や周辺に見える灰色部 (実際には暗い黄緑色) の斑点や縞模様は 黄銅鉱と黄鉄鉱の多い部分です。左上半分の暗色部 (実際には赤色) は鉄石英と呼ばれる鉄分に富んだチャートです。中嶋氏によれば このようにカラフルな組み合わせは 鉱床上部以外では なかなか見ることができないと言うことです。

中嶋氏に一生懸命磨いて戴いたサンプルを 業務課の山本洋一氏が撮影して下さいました。写真のレイアウトと内側の飾り文字は河村氏にお願いして 全体的には とても落ち着いて渋い感じの作品になりました。関係各位の御協力に対し、心から感謝申し上げます。カード作りに携わった者としては ここ数年の最高傑作

1985年12月号

と自画自讃していますが 皆さんの御感想はいかがでしょうか。

来年のことを今から言うのが鬼が笑うかも知れませんが グリーティングカード作りによいアイデアがありましたら 海外室までソツと教えて下さい。 (田口)



グリーティングカード 名づけて「黒鉱'85」

**研修生のうけた日本の第一印象** 訪日が決まって以来 「日本の奇蹟」について ヨーロッパのジャーナリストの報告をいろいろと読んでみました。それには一致して 日本人は精神的にも肉体的にも特別の人々であると記されていました。ところが 来日以来 見るもの聞くもの すべてが今までの予備知識をくつがえすことばかりではありませんか。丁寧にお辞儀をしあう紳士かと思うと 押し合い へし合いしながらラッシュの電車に乗り込む老人。 難民援助を熱っぽく語る人。 私の質問にはにかんで答えてくれない人 などなど。 自分の国でもごく見慣れた光景ばかりです。来日以来5か月が経ち 私の日本人観は次のような結論に達しました。 日本人は精神的にも肉体的にも変わったところなど全くなく 良い面も悪い面も合わせもつ ごくありふれた人間である。しかし 非常によく働き 人生の目標に勇気をもって立ち向っている人達です (中東からのある研修生)。

天然資源に恵まれないことが かえって勤勉な日本人

と 急速な経済成長を作りあげた要因になっているようだ。 事実 日本人すべてが過去の遺産を土台に新技術を開発し その恩恵に浴するという共通のゴールに突進している。 しかし 急激な社会進歩の陰で 古来の美風が とくに若い人々の中で 失なわれつつあることを感じさせられる (東南アジアからのある研修生)。

私のカルチュア・ショックは下記の通りでした。 ただし あくまでも第一印象ですから 現在はかなり違った意見になっています。 念のため、私の国との相違点は 集団指向 (規律 愛国心など) 細心性 (細かい規則 時間 形式主義) 男性社会 (女性に厳しい) 標準化 (直ちに標準化する) などです。 これに対し、類似点は 家

族主義 米国の強い影響 平和尊重 (国内での喧嘩口論も少ない) 楽天主義 (明るい将来を常に心に画いている) などです (南米からのある研修生)。 (翻訳: 桑形)

海外招へい研究者ひとこと 本年度工業技術院の海外研究者招へい制度によって 当所へお招きした研究者は 3か国4名で それぞれ30日間という短い期間ではありましたが お互いに有意義な成果をあげることができたようです。 それらの成果はいずれ報告書等で公表される機会もあるかと思いますので 海外室では本コラム用に 非公式なひとことのみを頂戴しました。(田口)



「高レベル放射性廃棄物の地層処分を研究する科学者には 全体の問題を理解し 各部分の役割を把握するゼネラリストが必要です。」

C. W. マイヤーズ博士 (Dr. C. W. Myers)

所属: 米国ロスアラモス研究所 研究員

期間: 昭和60年7月7日—8月13日

研究題目: 高レベル放射性廃棄物の地層処分

対応責任者: 環境地質部 小出 仁課長



「今後 計算機を使う人工知能の応用によって 鉱床モデルと資源予測の分野に 大きな進歩が期待できるだろう。」

D. A. シンガー博士 (Dr. D. A. Singer)

所属: 米国地質調査所 研究員

期間: 昭和60年8月1日—8月30日

研究題目: 鉱物資源データの統計処理技術に関する研究

対応責任者: 鉱床部 古宇田亮一主任研究官



地隔大海心相近 為民消災共勘奮  
他年難関攻破日 同呼乾杯一飲尽

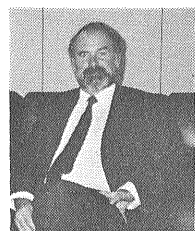
郭 増建教授 (Prof. Guo Zeng-jiang)

所属: 中国国家地震局蘭州地震研究所 所長

期間: 昭和60年9月2日—10月1日

研究題目: 地球化学的手法による地震予知に関する研究

対応責任者: 環境地質部 安藤直行課長



「西部および中部太平洋における 海底鉱物資源を明らかにする重要な役割を 今後とも日本地質調査所に期待したい。」

D. S. クローナン教授 (Prof. D. S. Cronan)

所属: 英国インペリアル・カレッジ 教授

期間: 昭和60年10月26日—11月24日

研究題目: 西太平洋に重点をおいた海底鉱物資源の比較研究

対応責任者: 海洋地質部 盛谷智之課長

外国の集団研修コース 米国のバトラー大学および地質調査所 (USGS) から 来年に開催される 集団研修コースの案内が届いていますので お知らせします。

バトラー大学国際地下水モデリング・センターで行われる短期集団研修コースは以下の通りです。

- (1)地下水モデリングの基礎 1986年3月20—21日
- (2)応用地下水モデリング 3月24—28日
- (3)地下水の水質と汚染 4月14—18日
- (4)地下水系の有限要素モデリングと野外調査 5月12—16日
- (5)実用3次元地下水モデリング 6月23—27日
- (6)地下水モデリングの基礎 9月18—19日
- (7)地下水モデリングにおける確率および地学統計分析 9月22—26日

以上の研修に要する費用その他の情報は 下記に直接お問い合わせ下さい。

Ms Margaret Butorac, International Ground Water Modeling Center, Holcomb Research Institute, Butler University, 4600 Sunset Avenue, Indianapolis, Indiana 46208, U.S.A.

米国地質調査所で行われる集団研修コースは 以下の通りです。

- (1)基本図化技術 (Base Mapping Techniques)
  - 期間: 1986年5月17日—6月6日
  - 場所: 米国バージニア州 George Mason 大学
  - 費用: US \$3,850 (食事・宿泊・教材費等一切を含む)
  - 申込締切: 1986年3月14日
- (2)第25回リモートセンシング・ワークショップ
  - 期間: 1986年9月2日—10月3日
  - 場所: 米国南ダコタ州 Sioux Falls 市  
Eros Data Center
  - 費用: US \$3,000 (教材・バス旅行費のみ 食事・宿泊費等は各自負担)
  - 申込締切: 1986年6月20日
- (3)地質および水文災害 (Geologic and Hydrologic Hazards)
  - 期間: 1986年9月15日—10月3日
  - 場所: 米国コロラド州 Denver 市  
米国地質調査所国立研修センター
  - 費用: US \$3,000 (教材費のみ 食事・宿泊費等は各自負担)
  - 申込締切: 1986年7月18日

以上の講義はすべて英語で行われ通訳はつきません。また 各コースの申込みには 申請書・履歴書等の書類

1985年12月号

が必要です。以上のほか 海洋地質に関するコースもありますが 詳細は下記に直接お問い合わせ下さい。

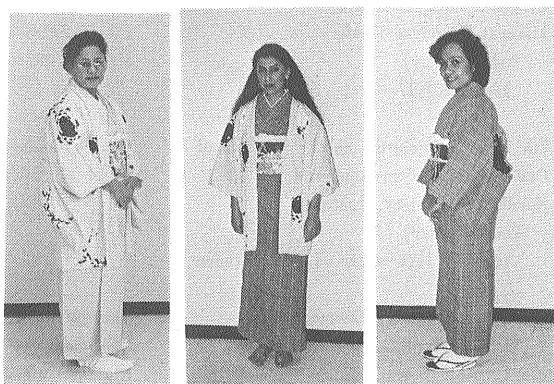
Training Section, U.S. Geological Survey  
917 National Center, Reston, Virginia 22092,  
U.S.A. (田口)

地下水コース着物ショー 今年の集団研修の大きな特徴の一つは 地下水コースに三人の女性が顔を揃えたことである。そしてそれは当然 華やかで和やかなムードを醸し出した。

研修も終りに近づき 催促されてあり合わせの着物を持ち込み彼女達の着物姿の撮影会を催した。一番熱心だったミセスネパール その胸まわりに心配であったが何とか着られ 日本のだこにでも見かけられそうな親しみやすいミセスが誕生した (写真左)。ミスフィリピンの小柄な着物姿はキュートで (写真右) 一諸に写真を撮りたい男性研修員が殺到した。ミスイラクは中東特有の大柄な容姿で 独特の雰囲気をも漂わせた (写真中)。

あわただしい昼休み 慣れない着付けをしながら 日本の衣装を身につけ満足そうな彼女達と楽しみを共有したひとときであった。このような小さな出来事の積み重ねが一人一人の良い思い出につながれば幸いである。

(堀内)



これから開催される国際会議 海外室には 国際会議の通知が毎月のように届けられますが それらのほとんどは海外室脇の掲示板に貼られるだけで 多くの人の目に触れることなく ゴミ箱に捨てられていました。しかし それらの中には本誌の愛読者の方々も知らないものが多く含まれていると思いますので 海外室では 今後「海外室だより」の中で それらに関するできる限り早く正確な情報をお知らせしたいと思います。読者の皆さんも 埋もれた情報がありましたら 本欄を御活用下さい。(田口)

これから開催される地学関係の主な国際会議

名 称 開催時期・場所	連絡先	要旨制限 締切日 登録料等
13th Congress, The Council of Mining and Metallurgical Institutions (Final Circular) 1986年5月11—16日 Singapore	Secretary, 13th CMMI Congress, C/- The Australasian Institute of Mining and Metallurgy, P.O. Box 122, Parkville, Victoria, Australia 3052	締切済 \$A600(1月15日まで) \$A650(それ以降)
6th Intn'l Conference Geochronology, Cosmochronology and Isotope Geology (2nd Circular) 1986年6月30日—7月4日 Cambridge, England	Organising Committee, 6th Intn'l Conference, Dept. of Earth Sciences, Univ. of Cambridge, Downing Street, Cambridge CB2 3EQ England	11.5 x 20cmの範囲内 1986年2月28日 £70(2月28日まで) £100(それ以降)
An Intn'l Earth Science Congress '86' (GEOCONGRESS '86) (1st Circular) 1986年7月7—11日 Johannesburg, South Africa	The Symposium Secretariat, S.339 CSIR, P.O.Box 395, Pretoria 0001, Republic of South Africa	締切済 登録料不明
Intn'l Meeting on Geothermics and Geothermal Energy (1st Circular) 1986年8月10—14日 São Paulo, Brazil	Organizing Committee-IMGG c/o Valiya M. Hamza Instituto de Pesquisas Tecnológicas de São Paulo S.A.-IPT, CP7141 01000 São Paulo, Brazil	要旨制限不明 1986年2月28日 US\$50.(5月9日以前) US\$70.(それ以降)
Circum-Pacific Energy and Mineral Resource Conference (2nd Circular) 1986年8月17—22日 Singapore	Mr. Paul R. Ashton Cities Service Oil & Gas Corp. P.O.Box 27570, Houston, Texas 77227, USA	250語以内 1985年12月1日 US\$275.
7th Intn'l Association on the Genesis of Ore Deposits Symposium and Nordkalott Project Meeting (2nd Circular) 1986年8月18—22日 Luleå, Sweden	Centek Conference S-951 87 Luleå, Sweden	締切済 登録料不明
Intn'l Symposium on Geomechanics (1st Circular) 1986年9月4—10日 北京, 中国	Secretariat of Intn'l Symposium on Geomechanics c/o Institute of Geomechanics Chinese Academy of Geological Sciences Fahuasi, Xijiao, Beijing, China	要旨制限不明 1985年12月1日 US\$100.
Conference on Geology of Indochina (1st Circular) 1986年12月5—7日 Ho Chi Minh City, Vietnam	CGI-I Secretariat General Department of Geology 6, Pham Ngu Lao St. Hanoi, Vietnam	200—300語 1986年1月31日 登録料不明
Intn'l Symposium on Granites and Associated Mineralizations(ISGAM) (1st Circular) 1987年1月21—31日 Salvador, Brazil	Mr. Augusto J. Pedreira ISGAM-General Secretary SME-CPM-Rua Ceara, 3-Pituba 40.000-Salvador-Bahia, Brazil	250語以内 1986年1月31日 登録料未定